ぜんせき
THE ZENSEKI

第8038号　月・水・金発行（祝日除く）　組合員 月1,728円　組合員外 月1,944円（消費税込）

1月10日（金曜日）2020年（令和2年）

発行所
全国石油商業組合連合会
東京都千代田区永田町2-17-14
電話 03-3593-5751
http://www.zensekiren.or.jp
昭和38年7月1日第3種郵便物認可 振替口座00130-4-52707

ぜんせきweb版　登録受付け中！
新規のご登録の手続きは
下記ウェブサイトでできます
http://zensekiweb.com

年末年始商戦

期待に反し「例年並み」

9連休も需要分散化顕著

最大9連休となった〝令和初〟の年末年始。ゴールデンウィークや夏休みなどで需要減に悩んだSSにとって、新元号の始まりにふさわしい需要の盛り上がりが期待された。ふたを開けてみると、寒冷地では暖冬による影響で、灯油や軽油の需要減とガソリンの伸び悩み、首都圏・関東地方は天候に恵まれたものの、全般的に需要は頭打ち、西日本では九州地方で行楽需要は確認されたものの、近畿・中四国地方は、天候不順が影響し、ガソリン、油外販売とも売り上げは伸びなかった。令和初の年末年始商戦は「例年並み」から「期待はずれ」がSSの本音のようだ。（2面に関連記事）

都内では、特に年末の都心部で洗車需要が好調、燃料油も堅調と伝える声が目立った。この年末年始は日並びが良く、27日が仕事納めとなった取引先も多く、26～27日に来店客が押し寄せたことに加え、30日午前中を中心に雨が降り、大晦日にかけて法人オーナー客や個人ユーザーが続々と駆け込む様子も見られた。交通量が分散化傾向だったため、「需要も例年より平準化していた」という見方もあった。

また、市街地のSSからは「燃料はやや悪く、洗車は横ばいだったが、整備などのカーケアが伸びた。長期連休の影響もあると思う」との指摘も。一方、連続仕切り値上げを受け、年末に転嫁を進めた量販SSも少なくなかった。

関東各地では年末30日が雨天だったため、31日に洗車客が集中したようだ。各地のSSでは長い待機列ができ、コイン洗車場なども多くの洗車客で賑わっていた。ガソリン販売量は「前年より落ちている。10月の消費増税以降、良くない」（千葉）という声が聞かれるなど順風満帆ではなかったようだ。東名川崎IC周辺のセルフSSは洗車が好調だった。「ここ数年の年末の傾向だと洗車はそれほど混まなかったが、30日が雨だったためか、31日は入口まで車の列ができるほど混み、ひと昔前のような光景だった」と驚いていた。

北関東のSSスタッフは「前回は年末の天候不順が影響し、洗車の稼働率が思ったほど伸びなかった。今回も心配だったが、ふたを開けたらガソリン・油外収益ともに平年並みの売れ行きでほっとした」と胸をなでおろす。大手・中小を問わず元旦を「休業日」にしたSSが目立った一方で、営業しているSSに給油客が集中し、給油待ちの車列が発生しているSSも散見された。

中部地方は期間を通じてほぼ好天に恵まれ帰省や行楽、買い物など外出車両が多く安売り競争も比較的手控えられたことから、前年に比べ幹線道路沿いを中心にガソリンや洗車で売り上げを伸ばすSSが目立った。東名高速名古屋IC近くのセルフはクリスマス前に148円に改定した現金価格を正月以降も続けた。東海3県では「暖冬で灯油やタイヤの売り上げが厳しく、ガソリンや洗車は少し伸びたが全体では前年並み」と振り返るSSも少なくなかった。

北陸地方は雨模様の天気が続き、ガソリン需要も伸び悩んだ。金沢市内のSSは「9連休だったのに連日雨ばかり。お客さんも少なく昨年同様に期待外れの年末年始だった」と顔を曇らせた。

近畿地方では年末商戦は例年並みの需要と見込まれている。天候に大きく左右され、思いのほか集客が伸び悩んだというのが業者の声。フルSSは27日の仕事納めの日に併せて前日の雨天もあり、法人客を中心に洗車の売り上げは伸びた。また、燃料油も昼前後を中心に需要増となったSSも見受けられた。

期間中の燃料油販売は、フル、セルフSSとも天候不順から、客足が遠のき、閑古鳥に近い店もあった。2度の仕切り値上げで割高感が出たのか、数量指定の客も多かった。また混雑時と閑散時の差が大きく「前年並み実績確保がやっと」と嘆くマネージャーも多かった。

交通量は分散化傾向だった（関越道・練馬ＩＣ付近）

好天に恵まれ賑わうＳＳ（愛知県尾張旭市）

高速交通量 前年比4.4％増
年末年始

高速道路各社が6日発表した年末年始（12月27日～1月5日）の交通状況速報によると、全国の主な40区間日平均交通量は前年同期比で4・4％増の3万8千台となった。

会社別では、NEXCO東日本（30区間平均）が1・6％増の3万1100台（うち北海道支社8・3％増、東北支社3・7％増、新潟支社8・0％増）、中日本が3・0％増の4万4100台（うち金沢支社12・4％増）、西日本（32区間平均）が2・3％増の4万8200台（うち中国支社6・7％増、四国支社6・8％増、九州支社2・7％増）など、例年の降雪量が多い地域での伸長が目立った。

地域別では、2・6円高の和歌山と鳥取、2・5円高の山口、2・4円高の香川など、0・4円安の佐賀と横ばいの高知を除く45都道府県で値上がりとなった。

ハイオクは1・2円高の160・9円。軽油は1・1円高の130・3円。灯油は18ﾘｯﾄﾙ店頭、配達ともに18円高の1685円、1838円。（2面に県別データ）

【技術開発・実証】

	申請者	事業名
1	コスモ石油マーケティング	セルフＳＳにおけるＡＩによる給油許可技術開発
2	コモタ	ＳＳ過疎地向けコンテナ型給油所（地上タンク）の技術検証
3	タツノ	近赤外分光技術による油種判別（コンタミ防止）技術の確立
4	トキコシステムソリューションズ	完全防水対応計量機の開発に向けた計量機搭載用の防水・防爆モーターの開発

【ＳＳ過疎地対策計画策定支援事業】

	申請者	事業名
1	岐阜県白川村	白川村南部地域ＳＳ過疎実態調査・計画検討事業
2	徳島県那賀町	那賀町ＳＳ過疎地対策計画策定事業
3	静岡県西伊豆町	ＳＳ維持による燃料安定供給と災害時における燃料確保のための計画策定事業

全石連

供給網の構築支援

技術開発・過疎地対策で

全石連の次世代の燃料供給体制確立に向けた「技術開発・実証およびSS過疎地対策計画策定支援事業審査委員会（委員長＝久留島守広東洋大学国際地域学部教授）」はこのほど、今年度当初予算で措置された「次世代燃料供給体制構築支援事業」のうち、①技術開発・実証と②SS過疎地対策計画策定支援事業で申請のあった各1事業の計2事業を採択した。これによって今年度は①技術開発・実証で4件、②SS過疎地対策計画策定支援事業で3件の計7事業が行われることとなった。

国の補助事業として実施されるもので、①次世代燃料供給体制確立に向けた技術開発・実証は、過疎化・人手不足などの課題克服に向け、地域の実情等を踏まえた新たな燃料供給体制の確立やビジネスモデルの構築に係る新たな技術の開発や実証事業など後押しする。

②SS過疎地対策計画策定支援事業は、過疎地などにおけるSSを中心とした燃料供給拠点の確保に向け、自治体が取り組むSS過疎地対策の計画づくりを支援する。

今回採択された2事業のうち、①はトキコシステムソリューションズが昨年の相次ぐ大型台風の襲来を教訓として、水害に強いSSづくりに向けて、冠水被害を受けたSSで水が引いた後に部品交換が必要な従来機に比べ、交換不要で早期復旧が見込める完全冠水対応計量機の完成を目指し、計量機搭載用の防水・防爆モーターなどを開発するもの。

②は静岡県西伊豆町がSS維持による燃料安定供給と災害時における燃料確保に向けた計画策定を行う。同町内では、後継者不足によって、2005年時点で町内に9ヵ所あったSSが3ヵ所にまで減少し、現存するSSも需要減少と施設老朽化の課題を抱えている。また、同3SSが南海トラフ地震における津波浸水区域内に所在し、災害時の燃料確保も喫緊の課題となっていることから、官民で協力し、平時・災害時を問わず常に安定した燃料供給が可能となる仕組みを検討していくこととしている。

次号（13日付）休刊

石連週報

G出荷10週ぶり好転

石連週報によるガソリン出荷量は、12月第4週（12月22～28日）が前週比2・5％減、前年比12・0％減の88・5万ｷﾛﾘｯﾄﾙと9週連続の前年割れとなった。生産量は12月4週が12・5％増、6・3％増の113・2万ｷﾛﾘｯﾄﾙで、3週連続で100万ｷﾛﾘｯﾄﾙを超えたが、1月第1週（12月29～1月4日）は0・1％減、2・0％増の88・4万ｷﾛﾘｯﾄﾙと10週ぶりに前年実績を上回った。ただし過去5年平均比では8・5％減と15週連続で不振となった。生産量は12月4週が12・5％増、6・3％増の113・2万ｷﾛﾘｯﾄﾙで、3週連続で100万ｷﾛﾘｯﾄﾙを超えたが、1月1週は17・1％減、3・4％減の93・8万ｷﾛﾘｯﾄﾙとなった。

灯油出荷量は12月4週が前年比15・4％増の58・1万ｷﾛﾘｯﾄﾙと好調だったが、1月1週が34・9％減の23・6万ｷﾛﾘｯﾄﾙと、2週ぶりに不調だった。一方で在庫は前週比5・8％減の220・5万ｷﾛﾘｯﾄﾙ、9・8％増の242・1万ｷﾛﾘｯﾄﾙとなり、4週ぶりに積み増した。（2面にDATA）

JXTG出光昭シ

卸全油種1円上げ

JXTGエネルギーは9日からの基準仕切りを通知した。特約店によると、12月26日比で全油種1円の値上げ。値上げは年末年始をはさみ3週連続、累計4円高。

出光昭和シェルは9日から仕切り改定幅を通知したが、販売店によると、12月26日比で全油種1円の値上げ。値上げは年末年始をはさみ3週連続、累計4円高。

今週のガソリン小売市況概況（１月２週）

	全体概況	ベンチマーク 前週	ベンチマーク 当週	備考 ※斜字はフル
北海道	⇑	￥151	￥151	*札幌市・地場・系列*
北東北	⇑	￥145	￥145	秋田市・広域・系列
南東北	⇑	￥150	￥150	*仙台市・広域・系列*
信越	⇑	￥141	￥144	新潟市・地場・系列
北関東	⇑	￥138	￥139	宇都宮市・異業種・PB
首都圏	⇑	￥136	￥137	印西市・異業種・PB
山静	⇑	￥145	￥148	*静岡市・広域・系列*
東海	⇑	￥135	￥136	鈴鹿市・広域・系列
北陸	⇑	￥137	￥140	福井市・地場・系列
京阪	⇑	￥145	￥145	八尾市・地場・系列
阪神	⇑	￥144	￥144	神戸市・地場・系列
山陽	⇑	￥145	￥141	岡山市・地場・系列
山陰	⇑	￥147	￥149	*米子市・地場・系列*
四国	⇑	￥150	￥150	*高松市・地場・系列*
九州北	⇑	￥150	￥150	*福岡市・地場・系列*
九州中	⇑	￥147	￥147	熊本市・広域・PB
九州南	⇑	￥149	￥152	宮崎市・地場・PB

⇑0.5円超上昇、⇗小幅上昇、⇒横ばい、⇘小幅下落、⇓0.5円超下落

レギュラー小売 1.3円高150・1円

エネ庁週市況

資源エネルギー庁による小売価格調査（6日・消費税込み）レギュラー全国平均は12月23日比1・3円高の150・1円と9週連続で値上がりした（累計3・6円高）全国平均が150円台になったのは昨年5月27日調査以来約7ヵ月ぶり。

論説

需給均衡への温度差を問う

年末2週間で3円の仕切り値上げ。「これからが年末商戦の本番、書き入れ時」と期待感のあったSSにとって、「あまりにも大幅な仕切り値上げ」との印象は拭えないが、聞こえてくる声は「仕方がない」「価格に転嫁せざるを得ない」というものが多かった。ひと昔前なら「この時期の値上げは我慢しろ」と元売を責める声も聞かれたはずだが、いまや仕切り改定は需要動向とほかけ離れたところで動くことを、経営者の大勢が納得しているようだ。

一方で、PBSSの動向はどうだったか。安いながらも仕切り値上げに連動し価格を上方修正するSSが多かったのは確かだ。関東地域にネットワークを有する広域PB業者は、ほぼ系列仕切りに準じ値上げした。関西の新興PB業者も年末に向け3円程度の値上げを各SSで行っている。だが、すべてのPBSSではない。例えば異業種PBSSは値上げしたものの、値上げ幅は1円、ガソリン価格は130円に。その上げ幅、売価はいまの業転事情から言えば到底納得できるものではない。

「業転はほぼなくなった」「極端に安いスポットなどあり得ない」と言われる現在、どこから仕入れれば130円でガソリンを売ることができ、利益を得られるのか。商戦期と大幅仕切り値上げが重なったこの時期、その理不尽さは頂点に達した。理不尽さを内在し商売を続ける周辺SSにとって、この年末年始がどれほど辛いものだったか。130円でガソリン価格を設定するSSが商売を続けられる理由はなぜか。まず「安い業転玉があるから」ということになるが、大手商社さえ自系列販売店に製品供給をするのがやっとと言われるほど需給均衡が進む現在、極端な安値販売の理由を「業転玉」に求めるのは的を得ているとは言えない。実際には従来の業転とは異なるルートで流通する、より直接的な玉が存在するとの見方があり、「需給均衡を実現しようとする元売とそれをよしとしない元売がいるから」ともささやかれている。

元売は5社、4グループになった。ここまで集約化されると、どの元売が需給均衡の努力を続け、どの元売がその真逆な行為をしているのかはすぐに察しがつく。商社は「安売りをするSSの価格を見ればどの元売の玉を使っているのかわかる」と断言する。PBSSの廉売には、業転業者の介在よりも特定元売の直接的関与が疑われている。

2面　年末年始・暖冬、天候で明暗
■DATAコーナー＝原油価格、石油製品先物情報、週動向調査、石連週報
3面　東北版・青年部連合役員会／九州版・喜多村支部長年頭所感
4面　中国版・『満タン運動』浸透へ　一丸／トレンドファイル

きょうの紙面

ポンプあいらんど

▼映画の上映が終わった途端、まだ暗闇の館内で信じられない出来事が起こった。満員の観客席から大きな拍手が沸いたのだ。上映作品は「男はつらいよ お帰り 寅さん」。1969年から毎年1、2本のペースで制作され、映画ギネス世界最高を記録した人情喜劇・男はつらいよシリーズ▼昭和、平成と正月映画の定番だったその50作目が22年ぶりにスクリーンに甦った。主演の渥美清さんが96年に亡くなった後の2本目。CG技法などの前作「特別編」（97年）に続きフスタルジックなものと予想していたが想像をはるかに超える笑いと涙の〝令和の寅さん〟だった▼マドンナに振られたり家族や中小企業の現実に悩むタコ社長と大喧嘩したりの名場面、名文句を回想しつつ、平和ニッポンと対比して戦火と貧困に苦しむ世界の現状。偶然にも元日産会長カルロス・ゴーン被告の逃亡先レバノンも映し出され、山田洋次監督の力の入れようが伝わってくる▼上映後に感動の拍手を聞いたのは初めて。それも大都会の高層ビル内のシアターで。「帰省スルー」など実家とのかかわりを面倒がる風潮が見られる中、故郷や家族の大切さを訴える寅さんの姿は、オールドファンだけでなく日本人の心をつかんで離さないのだろう。2020年の明るいスタートを十分に感じさせる拍手の渦でもあった。

TATSUNO

笑顔あふれるSSをサポート。

2010年に登場した「エコステージ」。
導入されたSSには、いつも笑顔があります。
その訳は、クリーンで快適、
そして安心できる環境を生み出しているから。
お客さまをやさしく迎える「エコステージ」で、
今日もSSにたくさんの笑顔あふれる
快適な空気をお届けします。

e-AS
大気環境配慮型SS
Sランク認定対象計量機

ペーパー液化回収装置 エコステージL・ペーパー液化回収機能付計量機 エコステージDシリーズ

株式会社タツノ　本社／〒108-8520 東京都港区三田三丁目2番6号　TEL 050-9000-0567　http://www.tatsuno.co.jp/

年末年始

暖冬、天候で明・暗

北 減販 南 堅調目立つ

（1面からの続き）

札幌市は2週続いた仕切り値上げの3円程度を転嫁する動きが12月27日以降広まった。年が明けてからもセルフ149円程度、フル151～2円、安値量販セルフ147・8円表示のままで推移している。

概ね天候に恵まれた北海道だが、ガソリンの売れ行きはあまり良くなかったようだ。札幌市の業者は「休みが長くてメリハリがなかった。景気が悪いからみんな余計なものは買わない。だから燃えてなくなるガソリンは売れない。残念な結果に終わった」と嘆く。

暖冬傾向が続く影響で、灯油販売量も伸びていない。札幌市では40年ぶりの記録的な少雪で積雪が平年の1割程度しかなく、ロードヒーティング用の需要はほぼない。除排雪の必要もなく、除雪機や排雪トラック向けのガソリンや軽油も全く売れない状況が続いている。働き方改革が進んだためか、札幌市内では三が日を休業とするSSがセルフを含めて多かった。

東北地方は青森で大みそかに降雪があった以外はほとんどまとまった雪が降らず、除雪作業向けの軽油需要が全くなかった。昨冬は年末に大雪が降って灯油配達の注文が殺到したが、今季はそれもなく灯油も伸びず仕舞い。樹氷で有名な山形蔵王スキー場は大半のゲレンデで草地が見られる状態で、蔵王温泉のSSではスキー客の給油が大幅に減った。

レギュラーのセルフ価格は、盛岡市で3円高の139～143円、山形市も2円高の142～159円と年末に強含んだ。福島市は年明け6日から強含んで152～5円となり、年末に上振れした仙台市も144～150円で推移した。秋田市は145～7円、青森市は134～148円でともに横ばい。

中四国地方も期間中は例年に比べ暖かい日が多く比較的好天にも恵まれたが、全体的にガソリンの販売量は例年並みと大きな伸びはみられなかった。一般道のSSでは「ガソリンは例年並み」「灯油は良くない」といった声が多くを占めた。一方で高速道路の交通量は昨年に比べ7%程度増加し「販売量も一昨年並みに戻った」（広島）と昨年の西日本豪雨の影響からの回復がみられたようだ。

四国地方では「ガソリンの販売量は例年並み」（香川）で推移した。洗車については29～30日が雨というぐずついた天候の影響で伸び悩み、気温に敏感な灯油も「昨年に比べると少ない」という声が多かった。

九州は年末年始とも晴天が続き、行楽客もほぼ例年通りだった。福岡市のガソリン価格は147～152円を維持、各県とも全体的には堅調だった。しかし、熊本、長崎などの一部地域では低下価格競争が続いた。消費増税による減販が懸念されていたが「これまでの年末年始に比べてそれほど変わらなかった」（大分）ようだ。

一方で、暖冬のために灯油の売れ行き不振は深刻で、山間部のSSは軒並み大幅に減り、SSは「前年に比べると3、4割は減った」とため息。各地の神社や行楽地へ向かう道路は車の列が続き、中でも万葉集に記された元号ゆかりの地、福岡の太宰府天満宮は令和初の正月を迎え、県外ナンバーのマイカーも目立ち、周辺は大渋滞し、給油客も多かった。

札幌市の住宅地では、ほとんどのSSが三が日を休んでいた

帰省客などの車で混雑する元旦のSA（山陽道小谷SA上り）

DATAコーナー

■石油先物市場・1／8

△値上げ、▲値下げ◇ストップ高、◆ストップ安、単位：¥／KL

東京商品取引所（京浜海上：1枚＝50KL）

16：30現在	前日比	限月	16：30現在	前日比
		ガソリン		
（前日出来高1,710枚）			（前日出来高3枚）	
61,000	△750	②限月	62,500	0
60,410	△910	③限月	62,500	△500
59,500	△640	④限月	61,000	0
58,810	△650	⑤限月	57,500	0
58,120	△640	⑥限月	61,000	△2,500
57,580	△620	⑦限月	58,000	0
		灯油		
（前日出来高605枚）			（前日出来高4枚）	
64,800	△600	②限月	68,500	△3,500
64,320	△740	③限月	68,000	△6,000
63,320	△590	④限月	61,300	0
62,240	△560	⑤限月	60,300	0
61,160	△580	⑥限月	59,800	0
60,600	△560	⑦限月	58,800	0
		軽油		
（前日出来高一枚）				
69,700	△1,500	②限月		
69,400	△1,500	③限月		
69,100	△1,500	④限月		
68,800	△1,500	⑤限月		
68,500	△1,500	⑥限月		
68,200	△1,500	⑦限月		

中京石油市場（伊勢湾油槽所：1枚＝20KL）

原油指標

			前日比
国内指標	$／B	68.54	(▲1.49)
	¥／KL	46,918	(▲1,285)
WTI	$／B	62.70	(▲0.57)
	¥／KL	42,921	(▲633)

■SS店頭市況週動向調査・1／6

（単位：¥／L、↑値上げ、→同値、↓値下げ）

レギュラー								
北海道	150.3	↑	静岡	151.0	↑	鳥取	148.0	↑
青森	147.9	↑	山梨	152.9	↑	島根	153.0	↑
岩手	146.2	↑	愛知	148.1	↑	山口	147.2	↑
宮城	146.8	↑	三重	149.5	↑	徳島	145.2	↑
福島	151.5	↑	岐阜	150.7	↑	高知	154.1	→
秋田	149.7	↑	富山	150.4	↑	愛媛	151.1	↑
山形	154.7	↑	石川	146.4	↑	香川	148.5	↑
新潟	147.3	↑	福井	151.7	↑	福岡	150.2	↑
長野	156.4	↑	滋賀	147.4	↑	大分	154.8	↑
群馬	150.4	↑	京都	152.9	↑	佐賀	152.5	↓
栃木	148.8	↑	大阪	148.0	↑	長崎	158.7	↑
茨城	147.1	↑	奈良	148.5	↑	熊本	150.5	↑
千葉	146.8	↑	和歌山	148.5	↑	宮崎	153.0	↑
埼玉	145.9	↑	兵庫	147.8	↑	鹿児島	159.3	↑
東京	151.0	↑	岡山	145.6	↑	沖縄	157.2	↑
神奈川	148.0	↑	広島	146.9	↑	全国	150.1	↑

灯油（店頭）								
北海道	1,688	↑	静岡	1,748	↑	鳥取	1,695	↑
青森	1,612	↑	山梨	1,677	↑	島根	1,755	↑
岩手	1,581	↑	愛知	1,691	↑	山口	1,709	↑
宮城	1,581	↑	三重	1,700	↑	徳島	1,619	↑
福島	1,618	↑	岐阜	1,649	↑	高知	1,687	↓
秋田	1,605	↑	富山	1,752	↑	愛媛	1,709	↑
山形	1,648	↑	石川	1,638	↑	香川	1,610	↑
新潟	1,696	↑	福井	1,710	↑	福岡	1,643	↑
長野	1,657	↑	滋賀	1,752	↑	大分	1,716	↑
群馬	1,670	↑	京都	1,730	↑	佐賀	1,718	↓
栃木	1,670	↑	大阪	1,659	↑	長崎	1,771	↑
茨城	1,606	↑	奈良	1,638	↑	熊本	1,683	↑
千葉	1,669	↑	和歌山	1,668	↑	宮崎	1,771	↑
埼玉	1,663	↑	兵庫	1,653	↑	鹿児島	1,851	↑
東京	1,818	↑	岡山	1,622	↑	沖縄	1,974	↑
神奈川	1,692	↑	広島	1,659	↑	全国	1,685	↑

■国内供給統計（石連週報）・1月第1週末　（単位：千KL、%）

	東日本	西日本	合計	前週比	前月比	前年比
①原油処理量	2,228.6	1,340.7	3,569.3	99.6%	100.9%	97.6%
②製油所稼働率	90.7	91.8	91.1	▲0.4	0.8	▲2.2
③石油製品在庫量						
ガソリン	849.4	808.6	1,658.0	99.1%	112.0%	97.5%
灯油	1,747.4	673.3	2,420.7	109.8%	92.3%	97.7%
軽油	883.6	778.9	1,662.5	126.8%	110.9%	88.5%
A重油	435.4	332.4	767.8	109.4%	108.5%	85.2%
6油種計	5,481.7	3,689.5	9,171.3	106.8%	98.8%	92.3%
④製品出荷量推計						
ガソリン	532.9	350.8	883.7	99.9%	103.3%	102.0%
灯油	129.3	106.9	236.2	40.7%	56.2%	65.1%
軽油	178.4	77.4	255.9	38.9%	35.1%	118.0%
A重油	23.8	48.5	72.4	27.7%	35.0%	60.4%
6油種計	920.3	669.5	1,589.8	62.2%	61.4%	91.6%

損保ジャパンSSフォーラム

働き方改革好事例など発表

損害保険ジャパン日本興亜は先ごろ、都内会場で保険代理店SSを対象に「SSエグゼクティブフォーラム2019」を開催し、講演や情報交換会などSS経営に役立つ交流の場を提供した。

左から両毛丸善・長谷氏、志村・高橋氏、エムロード・三角氏

好取組発表では、両毛丸善（本社・栃木県足利市、コスモ系・JXTG系）の長谷五郎社長（当時）、志村（本社・埼玉県志木市、出光昭シ系）の高橋秀明社長、エムロード（本社・熊本市、JXTG系）三角雄介社長が、「働き方改革」や「女性活躍」、「顧客管理」などをテーマにディスカッションを行った。

働き方改革について三角社長は、「月1日の定休日を導入。給油以外のサービスをしない〝ノーサービスデー〟も行わず、空き時間にピットの掃除や機器のメンテナンスができるため、SSの美化にも繋がったという。「夏場は熱中症対策として1時間のノーサービスタイムを作り、ミネラルウォーターやお茶を用意。スタッフに休憩と水分補給をさせている」と述べた。

女性活躍について高橋社長は、「5年前に大きな人手不足に陥り方向転換した。全店セルフ化、女性ができる仕事の見直し、IT関連への投資を行った」と説明。その結果、5年前と比べ新卒採用が0%から40%、女性スタッフは10%から50%まで増加した。育休制度を設け、勤務時間も短縮に努めている」と話した。ノーサービスデーはフルSSでも窓拭きなどのサービスを一切しないため、1SSあたり4～5人体制を2人体制に減らすことに成功。ピット作業を設けるなど労働時間の融通がきくため、女性スタッフからは「明るく働きやすい職場」という声が挙がっている。「保険販売に注力するため専任の女性スタッフと保険事業部を立ち上げ、いまでは年間500件の保険契約を獲得している」という。

顧客管理について長谷社長は、「顧客情報をデータ入力し、全店でメンテナンス履歴などを共有。集積した10万人の顧客データを活用し、スマホアプリと連携させてクーポンの配信、車検予約促進の案内などを送り、顧客の固定化、リピート率アップを図っている」と説明。「車のことならなんでも相談できるワンストップサービスのお店を目指している。そのためには保険の知識と提案力は不可欠である」と保険販売の重要性を強調した。

千葉

各地で活発な意見交換

【千葉】千葉石商（安藤順夫理事長）は昨年9～12月にかけて、県内各地で方面協議会を開催した。台風災害の影響などから第1方面協を除いた8方面で実施、総勢83人の組合員が参加した。

同会は各支部を9ブロックに分けたもので、各方面の支部組合員と執行部の連携強化を図ることが目的。会合では県との協定見直しに向け同石商が7月に県と実施した勉強会などについて説明し、出席者と意見交換を実施。「平時からの燃料供給における付き合いは全くないが、社会貢献だと思い協定を結んでいる」などの現状が報告された。また「地域住民が災害対策や減災対策に目が向いているうちはいいが、喉元を過ぎて熱さを忘れてしまうのが心配だ」、「いざ被災すると自分たちも慌ててしまうかもしれないので、まず支部内で災害時の対応手順を確認したらどうか」との意見も挙がった。

このうち山武、匝瑳、旭、銚子の各支部で構成される第6方面協議会では、加藤哲男会長が「台風15・19号が立て続けに襲来し、千葉県内の組合員も大きな被害を受けた。キャッシュレス対応や経営環境改善など様々な問題が山積しているが、正しい情報をしっかり集めながら前を向いて進もう」とあいさつ。

安藤理事長も「実際に台風で被災したこともあり、県防災課との関係強化の重要性や協定見直しの必要性を改めて痛感している。不測の事態に備え、組合として万全な体制を整えていく」と述べた。

活発な意見交換が行われた千葉方面協会議（写真は第6方面協議会）

東京パラ聖火リレーサポート契約を締結

JXTGエネルギーは先ごろ、東京2020パラリンピック聖火リレーサポーティングパートナーシップ契約を大会組織委員会と締結した。これに伴いオリンピックとともに双方の聖火リレーをサポートすることになる。

いずれもグループ会社のENEOSグループが聖火リレートーチにガスを供給する。

後付け急発進等

抑制装置認定へ

国交省

国土交通省は先ごろ、後付け急発進等抑制装置について、一定の機能を有する3分類9装置を認定した。

認定対象装置は①障害物検知機能付きペダル踏み間違い急発進等抑制装置が「踏み間違い加速抑制システム」（トヨタ）と「ペダル履み間違い時加速抑制装置」（ダイハツ）、②ペダル踏み間違い急発進等抑制装置が「S-DRIVE誤発進防止システム2」（サン自動車工業）、JARWA-SDRIVE（日本自動車車体補修協会）、「ペダルの見張り番Ⅱ」「アクセル見守り隊」（いずれもデータシステム）、③ペダル履み間違い防止装置が「ワンペダル」（ナルセ機材）。

J本田

全店、全油種値上げ

ジョイフル本田7SS（群馬・新田店、千代田店、栃木・宇都宮店、千葉・富里店、千葉ニュータウン（NT）店、埼玉・幸手店、東京・瑞穂店）は、6日から全店で全油種を1～3円値上げした。

ガソリンは幸手で2円、その他6SSで1円の値上げ。新田、千代田、宇都宮、幸手で139円、瑞穂で138円、その他2SSで137円となった。

軽油は全店で1円値上げし、新田、千代田、宇都宮で119円、幸手、瑞穂で118円、その他2SSで117円となった。

灯油は新田、千代田、宇都宮で3円値上げし88円、その他は1円値上げし86円となった。

生活、産業、地域を支える 石油の力SSの力

静岡県袋井市 ▶vol.358◀

元お笑い芸人

若手漫才日本一決定戦「M－1グランプリ」で昨年12月、「ミルクボーイ」が優勝した。「頑張っている後輩の姿を見てうれしくなった」と感慨深げに話すのは永田石油ガス（静岡県袋井市・コスモ系）の永田敬壱社長だ。プロのお笑い芸人からSS経営者に転じた異色の経歴の持ち主。「漫才のツカミもオチもすべてはお客様のため。商売は違えど基本は同じ」とお笑いに日々磨きをかけている。

「小学生のころから、夢はテレビに出ること」。クラスの人気者で、人を笑わせるのが大好きな少年だったという。地元の高校を卒業後、お笑い芸人を目指して大阪の専門学校に入学した。同級生と「フレンチキッス」を結成。漫才がスカウトの目に留まり松竹芸能に所属したが、鳴かず飛ばずで解散。2003年に松竹の先輩と「のろし」というコンビを組むと、「松竹大阪の若手ホープ」と言われ、破竹の勢いで活躍した。

07年に上方漫才大賞新人賞、08年にABCお笑い新人グランプリ新人賞を次々と受賞し、最盛期は関西や静岡でレギュラー番組3本を抱えたものの、その流れに乗り切れず失速。永田氏は「最終的に（のろしは上がらず）くすぶった」と笑い、「結果を出し続けるのは本当に難しい」としみじみ語る。

11年のコンビ解散後、ピン芸人「サンライズけいち」として再始動。松竹の先輩、TKO木下隆行さんの「東京で真剣に勝負してみたら」のひと言で東京に進出したが、期待は打ち砕かれる。「手も足も出なかった。でも『東京へ行ってみたかった』ではなく、『東京は凄かった』と思い、吹っ切れた」。15年に芸人を引退した。

「これまで好き勝手してきたが、これからは家族や地域のために生きよう」と決意し、3代目として家業のSSを継いだ。元芸人の経験を生かし、新しい取り組みにも挑戦。サービスルームで「元お笑い芸人と作るショートコント」を開き、ネタのアイデアを出し合う参加者と〝お笑い談義〟を繰り広げた。

笑顔は地域密着のエネルギー

手作りの新聞「永田石油ガスニュース」も2ヵ月に1回発行し、法人客らに配っている。永田氏が妻の両親に嫌われていた話を掲載すると、「自分のほうがもっと嫌われている」と顧客が反応。そのエピソードを次号で紹介するなど、新聞を通じた交流も生まれ評判は上々。

「固定客がいることはありがたい」とかみしめるように話す。笑いが絶えないSSで「笑顔は地域密着のエネルギー」と〝永田節〟でうまく締めた。お後がよろしいようで―。

「笑顔は地域密着のエネルギー」と笑いが絶えない永田社長（中央）とスタッフ

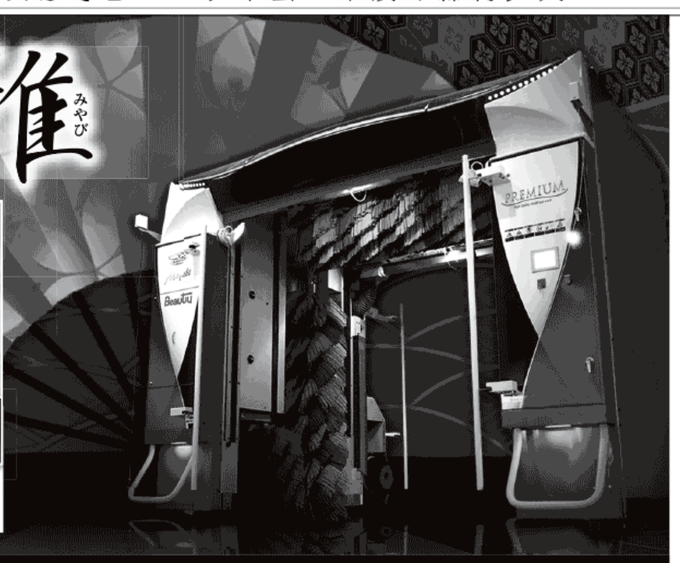
世界の三大ガソリン計量機メーカー
TATSUNO

最新ドライブスルー洗車機雅（みやび）

動きの異なる3タイプの超高圧ジェットシステム搭載
ドライバーの約3割が選択する人気オプションを3種類ラインナップ!

車両下回りを広範囲に洗浄! スイング式下部洗浄!!
汚れやすいボディ下回りをスイング式ノズルで最大面積を洗浄!

最新ガラス系コーティング『PRISM GLASS』標準搭載
FK-2ハイパーとの組み合わせで史上最高の光沢感を実現!



仕上がり満足度UP 洗車単価UP
新登場
Tire Wax Dispenser
TWD1
NEW 業界初
コイン式 タイヤワックス ディスペンサー

「洗車のついでにタイヤも綺麗にしたい」というドライバーの声から生まれた『タイヤワックスディスペンサー』。仕上げ場のわずかなスペースでも設置可能なスリム設計でワックス掛けが容易にできます。タイヤワックスのセルフ有料化を促進し洗車収益をサポートします。

Beauty ビユーテー株式会社
機械遺産認定の信頼と洗車機累計販売台数世界NO.1の実績
SINCE 1965
本社 名古屋市港区木場町2番地 TEL 052-692-2101（大代表）
ビューテー 検索 http://www.beauty.gr.jp

■Network of the Beauty
北海道支店 仙台支店 上信越支店 関東第一支店 関東第二支店
東海支店 北陸支店 大阪支店 広島支店 四国支店 福岡支店 南九州支店
㈱沖縄給油設備（沖縄地区 販売代理店）

東北

東北支局（仙台市青葉区一番町1-9 宮城県石油会館）022（225）1967

総会実施概要など決める

SS未来フォーラム　勉強会に参加呼びかけ

東北石油組合青年部連合

東北6県石商の青年部で組織する東北石油組合青年部連合（金山知裕会長）はこのほど仙台市で役員会を開き、2020年度総会の実施概要を決めた。

総会は6月24日に秋田市で開催し、終了後に橘川武郎東京理科大大学院教授を講師に招いて研修会を開催する。研修内容の詳細は今後詰めるが、橘川氏をコーディネーターとして各県代表1人ずつをパネラーとしたパネルディスカッションを行うことを決めた。参加者は50人を見込む。

この日の役員会には各県の役員ら12人が出席。金山会長は、自ら会長を務める全石連SS未来フォーラムで3月6日、今後のSS経営をテーマにした勉強会を開催することを紹介。「国の会議で消防法の規制緩和が議論される中、SSでの物品販売が自由になり、キャノピーの面積規制も緩和される可能性がある。発券店値付けカード問題や災害多発、SS過疎、異業種対応など課題が山積する中で、今後のSS経営をどう進めるかは重要だ」と指摘し参加を呼びかけた。

福島石商青年部の根本一男会長は、同青年部が親会から委嘱を受け、働き方改革対応で組合として取り組める具体策を提言することを紹介した。

役員会終了後、出席者は宮城石商が備える緊急用バッテリー可搬式計量機を視察した。

経営課題について意見交換も行った役員会

緊急用バッテリー可搬式計量機を視察する出席者

ごろ、盛岡市で役員会（写真）を開き、2020年度の総会を4月21日に開くこととし、総会に提出する事業計画案などを決めた。

菊地支部長はあいさつで「元売再編が完了したことで安売りしてもどんどん売れという時代は終わり、これからはマージン重視の冷静な動きになるだろう。盛岡地域では全国の流れとほかけ離れた価格競争が続いているが、諦めずに安定した経営・労務環境づくりを進めていきたい」と述べた。

20年度事業計画案の骨子は①経営安定化対策②支部組織の強化③官公需共同受注の推進④福利厚生⑤広報活動の強化⑥全石連共同事業の利用推進⑦石油連盟と連携した自治体訪問の実施など。中でも全国屈指の実績を誇る官公需については、受注拡大に対応した事務処理システム構築の検討も進めることを盛り込んだ。

支部推薦の県石商・協役員人事案では、勇退した高橋秀彦副理事長の後任理事に、同じ三田商店の中井淳一常務を推薦することを決めた。

SSまつり　約3万人が応募

県内宿泊券で地産地消貢献　福島

福島石商（西形健吉理事長）は先ごろ、SSまつり「元気ガソリン満タンキャンペーン」の抽選会を福島市で開き、福島県内の旅館・ホテルのみで使える「福島宿泊券」の当選者（1～3等）45人を決めた。

今回のキャンペーンには、240の組合員SSが参加した。福島SSの復興に寄与しようと、県旅館ホテル生活衛生同業組合の協力を得て福島宿泊券（5万～5千円）を賞品として用意。参加SSで一定額以上の給油や買い物をした消費者に応募券を渡した結果、前回を上回る2万8813人から応募があった。

抽選会で西形理事長は「SSまつりは販促活動の一環として始まったが、災害頻発を受けて災害に備えてこまめな満タン給油を心掛けてもらおうとの趣旨が強まった。福島宿泊券を賞品にすることで、地産地消にも貢献できると思う」とあいさつ。西形氏のほか磐梯熱海温泉（郡山市）の老舗旅館「四季彩　一力」の若女将小口正子さんらが抽選人になり、地区ごとの応募券の中から無作為で当選者を選んだ。

決定した当選者は1等（5万円）10人、2等（2万円）10人、3等（1万円）25人。この他、参加SSごとに1人、SS特別賞（5千円）が当たる。

1等当選者の応募券を掲げる抽選人

周知ポスター配布

関係機関に掲示しPR

青森県不正軽油対策協

青森県不正軽油対策協議会（田中幹志委員長＝青森石商副理事長）はこのほど、青森市で会議を開いて情報交換するとともに、出来上がった不正軽油撲滅の周知ポスターを各参加機関に配布した。

田中委員長は「過去に青森市で不正軽油を製造販売した業者が起訴された事件や津軽地方で不正軽油販売業者を撤退に追い込んだ事案も対策協の成果だ。今後とも協力して不正軽油撲滅に取り組んでいきたい」とあいさつ。出席した県の税務、環境保全部門や県トラック協会、青森海保の担当者らがこの1年の活動を報告し合った。

ポスターは、不正軽油が自治体の貴重な財源を損なう脱税や、環境汚染等を引き起こす重大な犯罪であることを明記し、情報提供を呼びかける内容。1千部を印刷し、関係機関がそれぞれ掲示してPRに努める。

不正軽油撲滅をPRするポスター

九州

九州支局（福岡市博多区千代3-2-1 ふくおか石油会館5階）092（282）0908

喜多村九州支部長年頭所感

「粗利益率」を重視しよう

2020年がスタートした。年頭にあたって全石連九州支部の喜多村利秀支部長は、需要減が続く中で再投資可能なSS経営を実現するために、従来のような「リッターあたり○円の利益」という意識を変革し、「粗利益率」を重視しようと強調した。また災害時協定と一体になった官公需の拡大と随意契約の推進について言及した。

新しい年への抱負を語る喜多村支部長

―SSを取り巻く経営環境について。

元売の経営統合が進む中で九州のガソリン市場は比較的安定してきたが、少子・高齢化や低燃費車の増加、若者のクルマ離れなどによって減販が続いている。人手不足は深刻化する一方で、働き方改革も急がなくてはならない。次世代に生き残るためにも組合として全力で取り組む。

―SSの経営改善が課題ですが。

働き方改革のためには職場環境の改善が必要で、そのためにもしっかりと再投資可能な利益を確保したい。これまでは「リッターあたり○円の利益」という言い方をしていたが、これからはほかの小売業と同じように「粗利益○%」という言い方をすべきだ。

それぞれのSSが目指すべき「粗利益率」を頭に描けなければ、生き残ることはできない。

―昨年は自然災害が多発しました。

8月の佐賀県を中心にした九州北部豪雨、9月の台風15号、10月の台風19号に伴う大きな災害時に国や自治体の要請に基づいて河川事務所のポンプ場や緊急車両の給油などへの燃料供給に力を尽くし、〝最後の砦〟としての役割を果たした。

一方で、県や国などの中には平時は他県業者などから安値で燃料を調達しながら災害時だけ「災害協定」を盾に地元SSに供給を要請するケースがある。日ごろから取引がなければ重要施設のタンク設置場所、油種やタンク口径などの情報が少ないために迅速に対応できない。

―随意契約の重要性について。

石油組合としては平時からの燃料調達を随意契約にしてもらいたいと要請しているが、「経済合理性」を理由に実現しないケースが多い。

災害時に重要施設への緊急配送に迅速に対応するためにも、実効性が確保された災害協定に見直す取り組みを強化したい。

―SSの課題は。

それぞれのSSには「特色のある経営」が求められていると思う。「近くのSSに定期的に給油に立ち寄る」（最寄り性、来店頻度）というSSの特徴はほかの業種にない有利なものであり、すばらしい利点だと思う。この利点をどう経営に活かすかを懸命に考え、地道に取り組むことが重要だと思う。

消防法規制緩和で意見交換

熊本　商機増へ期待と懸念

三角理事長（写真）

熊本石商・協（三角清一理事長）の支部長会が先ごろ熊本市で開催され、「消防法の規制緩和」について意見交換、「SSの新規事業展開に役立つ半面、別業種から新規参入する可能性が強まる」との不安も示された。

三角理事長は、全石連で議論されている規制緩和について「3分の1以下と決められているキャノピー制限の緩和、車販、レンタカー・カーシェア、宅配ボックスの設置事業、営業時間外のスペースの活用」などについて説明した。

セルフSSでは「使用（給油）状況を視認できる位置に制御卓を設けるか、視認を可能とする監視設備を設けること」などと決められているが「タブレットなどのIT機器を活用する給油許可」が検討されており、これが実現すればスタッフがタブレット端末を持ちルーム外に出て、別作業をしながら給油を視認することもできるようになる。「規制緩和されればビジネスチャンスが増える。端末で監視できるようになれば人手不足を補い、働き方改革にもつながる」と評価する一方、「国内需要が伸び悩んでいるカーディーラーや整備工場などがSS業界に進出しやすくなる」との意見も出た。

「どのような方向に変わっても、新しい事業を再構築するため、きちんとした利益を得て再投資する経営を実現しよう」と確認した。

14日にSS経営環境変化講演会

熊本石商（三角清一理事長）は14日、熊本市で「SS経営を取り巻く環境変化と組織活動」をテーマに全石連の安藤順二業務グループ長を招き講演会を開催する。

SSを取り巻く経営環境はガソリンの販売減、HV、PHV、EVの普及、働き方改革など急速に変化。さらにキャッシュレス化、発券店値付けカードといった課題も山積している。災害対応力の強化も含めてSSの今後の方向性や全石連の活動について話す。

鹿児島県　地元紙が住民拠点SS紹介

住民拠点ＳＳについて大きく報道した鹿児島の地元紙

鹿児島県の地元紙が先ごろ、住民拠点SSの整備状況について社会面トップで掲載した。「全国で4番目に多い」と報じ、SSに対する県民の期待の大きさを示している。

記事では、昨年実施された災害時対応訓練を中心に、参加スタッフの

県内配備数全国4番目　高い防災意識反映

「熊本地震のときには鹿児島のSSにも給油車が殺到した。どんな状況でも対応できるよう普段から災害時をイメージしておきたい」などのコメントを紹介し、住民拠点SSが現在、県下で124ヵ所配備されている状況を訓練の写真とともに掲載した一方、SS数がピーク時の半分以下の820ヵ所に減ったという、業界の深刻な現状を説明している。

鹿児島石商・協の高田英司専務理事は、「鹿児島県は離島が多く、自然災害も多発しているので防災意識が高い。訓練を重ねる一方で、災害時に〝最後の砦〟となることができるように住民拠点SSの整備も進めるよう」とコメントしている。

各県賀詞交歓会　沖縄は29日開催

令和に入り初の賀詞交歓会が九州・沖縄各県で開催される。

沖縄（濱元清理事長）は那覇市内で29日に組合役員をはじめ政・財界、官庁の関係者を招いて盛大に開催する。

また各県組合は幹部会、役員会などで迎春を祝い、厳しい環境下での経営展望を語り合い、新しい年への覚悟を新たにする。

訂正　12月25日付「追悼　新出光・出光豊相談役」の見出しの「酒脱」は「洒脱」の誤りでした。お詫びして訂正します。

SSに役立つ最新情報をいつでもどこでもラクラク入手
「ぜんせきweb」
★新聞より早く情報を発信！
★外出中もスマホ・PCで最新情報をキャッチ！
★eラーニングで乙四試験の勉強を！
★過去の記事もラクラク検索！
スマホやタブレットでいつでも閲覧
ぜんせきweb 公式ツイッター
最新情報をいち早くキャッチできます。
QRコードから「フォロー」ください。
@zensekiweb
会員登録はコチラ
デモ版でお試しできます！
http://zensekiren.com
※機関紙「ぜんせき」をご購読の組合員様には、月額1000円（税別）でご覧いただけます！

中国
中国支局（広島市南区的場町1-7-20 広島県石油会館2階）
082（264）6623

『満タン運動』浸透へ一丸
各県活動状況など報告

中国支部理事会

諸問題について活発に意見交換した中国支部理事会

全石連中国支部（大野徹支部長）は先ごろ広島市内で理事会を開き、『満タン&灯油プラス1缶運動』の積極的推進をほじめとする今年度の活動状況について報告するとともに、コンタミ防止やSS過疎地問題など、山積する諸課題について意見交換を行った。

各部会・委員会報告では、キャノピー下の水銀灯のLED化推進（土田好明共同事業副部会長）や、SS店頭アンケート結果を参考とした『満タン運動』の効率的広報手段の検討（吉延嘉一郎満タン&灯油プラス1缶運動推進委員）などについて担当役員が説明。また、意見交換では、コンタミ防止について、「ローリーのノズルとSS給油口のキャップの色を油種別に統一するよう動きかけてはどうか」（廣川正一広島石商・副理事長）といった提案もなされるなど、活発な議論が行われた。

一方、各県報告では島根から、現在県独自に作成中の『災害対応マニュアル』、灯油の利用促進へ向けた2回目となる石油連盟との合同自治体訪問の実施について報告。

山口は、経営環境の改善を最大の目標に、県内の全農エネSSの廉売問題の是正に引き続き全力を注ぐとしたほか、鳥取は海上自衛隊舞鶴地方総監部と締結した「災害等の非常時における燃料等の確保に関する協定」による燃料安定供給支援と併せ、受注機会の増大へ向けた関係構築の促進を挙げた。

広島はSS過疎地の問題に対応していくため、県議を中心に議連を創設、継続的に勉強会を開催していくことを、また岡山は昨年11月に開催した臨時総代会で議決した石油会館の売却について万全の態勢で臨むことなどを報告した。

大野支部長は『満タン運動』について、「長期の休暇となる年末・年始をぜひ満タンで、そして灯油も1缶のゆとりをもって過ごしてもらえるよう、各SSでも呼びかけてほしい」と、同運動の浸透を目指し、来年度も積極的なPR活動への協力を改めて求めた。

明るい話題共有できる年に
岡山・安原秀理事長年頭所感

岡山石商・協の安原秀理事長は、組合が発行する石商だより「のずる」に年頭所感を寄稿した。メッセージの要旨は以下の通り。

◇

平成から令和となった昨年、なかなか進まない震災復興に追い打ちをかけるように、悲しくも台風などの自然災害が頻発した。報道を目の当たりにするたびに、一昨年の県下の災難と同様の有様に心が痛み、全石連が推奨している『満タン&灯油プラス1缶運動』の重要性をますます感じるとともに、自助・共助・公助の中の自助が大切な取り組みであることを確信した。

市場環境については、昨年10月実施の消費税増税後の需要減退もあり、厳しい状況が続いている。また周知の通り「働き方改革」の実施に伴う、かつてないほどの人材確保の困難さは、どの企業・分野においても深刻な問題ではないかと思う。

新年の年頭に厳しいことばかりを申し上げたが、新しいことが生み出されるといわれる子年の2020年に、皆さんと明るい話題をきっと共有することができると信じ、一丸となって組合活動に取り組んでいきたい。

最後に、組合員の皆さん、その社員の方々、ご家族の皆さんのご健勝とご多幸を祈り、ますますの企業発展を祈念し年頭のあいさつとしたい。

4車種とも不振
2ヵ月連続減
11月・新車登録

中国運輸局がまとめた管内における11月の新車新規登録台数は1万4834台と前年同月比で19・7%減少し、2ヵ月連続の前年割れとなった。また全国計も14・5%の減少となった。

内訳は、登録車の普通乗用車が6557台（20・2%減）、小型乗用車6167台（18・7%減）、貨物車は普通が602台（23・6%減）、小型が1026台（23・0%減）と4車種とも減少。

県別でも、広島5819台（15・7%減）、岡山3645台（23・0%減）、山口3088台（17・7%減）、鳥取1千台（21・0%減）、島根1282台（29・9%減）と5県すべてで減少した。

山口県周防大島町と対岸の大畠町を結ぶ大島大橋

山口県周防大島町と大畠町とを結ぶ大島大橋に一昨年10月、貨物船が衝突する事故が発生し、島への石油製品の配送が断たれる事態に見舞われた周防大島町。事故から1年が経ち配送の不安は解消されたものの、過疎化の進展や人手不足など直面する課題は少なくないようだ。

事故当時は橋が通行できなくなり、ローリーをフェリーで運搬し、島内の燃料の安定供給に努めた。佃一郎山口石商周東支部周防大島地区長（小松物産社長・出光昭シ系）は「供給を継続でき、島民の生活を守ることできてよかった」と振り返る。その後も7月までは橋の通行規制が続くなど不自由な日々を過ごしたが、現在は事

山口・周防大島町
復旧進むも難問山積

故前とほぼ変わらないところまで復旧した。

しかし、島では人材確保など課題も山積。採用については折込広告やネットなども使い広く募集しているが、雇用条件の不一致などで採用までに至らないケースも多いという。

人口減少や過疎の進展も著しく、今後は地下タンク問題などで事業継続が危ぶまれるSSや後継者不在により廃業を余儀なくされるSSも現れかねない状況にあるという。

さらに発券店値付けカードの利用も広がってきており、得意先が同カードの利用に変わりマージンが圧縮されるなど収益環境への影響も懸念されている。

トレンドファイル

欧州では、エネルギー供給に占める再生可能エネルギーの比率を高め、脱化石燃料を推進している。我が国も今後、再生可能エネの比率は確実に高まるものと思われる。しかし、そのエネルギー密度は、石油製品と比べて非常に小さいため、同じエネルギーを得るために膨大なスペースを必要とする。再生可能エネに過度に依存することは、適切なエネミックスが必須であることは言うまでもない。

タツノ　龍野 廣道社長

災害に強いSS網を支える企業目指して

現在のような大量エネルギー消費社会にあっては、エネルギーのダイバーシティ（＝多様化）が必要であり、その中で石油は主役の一角を占め続けるものと思う。自動車についても、エネルギーの多様化は進むと思われるが、SSネットワークが確保されている限り、石油の優位性は揺るがないものと思う。

今年も、SS業界に安心して事業を続けていただくために、当社はその裏方に徹して、設備の保全確保と緊急時の対応に努力していく所存。令和の時代の業界の発展を心より祈念申し上げる。

昨年は、平成から令和へと年号が変わり、新しい時代が華々しく幕を開ける記念すべき年となった。一方で8月の九州北部豪雨に始まり、9月の関東地方に上陸した過去最強クラスの台風15号、10月の関東地方や甲信越地方、東北地方などに記録的な大雨を降らせた台風19号と、たび重なる災害に見舞われた1年でもあった。

エムケー精工　丸山 将一社長

一手先のサポートでユーザーの笑顔作る

組織改革を実施しLED表示機部門を一体化させ、モビリティ&サービス事業本部とした。これにより、店頭に欠かせないLED電光看板の機種も充実していく。

市場ニーズを的確に捉えたより良い製品づくりを通して、SS業界に携わる皆様やエンドユーザーの方々の笑顔を見ることが、弊社の一番の喜び。

2020年も、モビリティ分野の変化を敏感に読み取りながら、製造から販売、アフターサポートまでの一貫した体制を有する強みを生かして、様々なシーンで「一手先」を見据えたモノ＋サービスの提案に努めていく。

SS関連機器業界トップ年頭所感

昨年、元号も「令和」となり新しい時代の幕開けとなった。今年の干支は「子年」だが、十二支の新しいスタートの年でもあり、また本年は記念すべきオリンピックイヤーの年でもあり、未来への大いなる可能性を感じさせる年でもある。しかし、市場はますます変化への対応が求められている。当社も今年設立55周年の節目の年でもあり、「モノからコトへと新時代へ対応できる新なる商品の提供が重要」と考え、昨年より商品開発のコンセプトも新しい切り口で「人にやさしい」をテーマとし取り組んでいる。

ビューテー　竹内 英二社長

新時代対応へ生の声反映した商品開発を

洗車を通じて「生涯顧客の創造に貢献する」を理念としている当社は、取引先各位の収益確保のためのビジネス機器と全国に展開するサービスネットワークを駆使し、今後もより一層、取引先各位、エンドユーザー様の生の声を反映した「洗車ビジネス機器」としてご活用いただけるよう、新製品の開発に取り組んでいく。

日本自動車機械工具協会　柳田 昌宏会長

安全なクルマ社会と環境保全へ取り組む

本年も自動車関連業界の一員として、クルマ社会の安全確保と環境保全に向けて自動車検査整備用機器の提供、これらの適切な使用および維持管理に関する提案・啓発等、与えられた使命を果たすために種々の事業活動に取り組んでいく。

海外関係では、昨年11月、協会主催の視察団を米国（ロサンゼルスおよびラスベガス）に派遣し、同国の自動車検査制度および検査整備用機器等に関する情報を収集するとともに、国際見本市「SEMA SHOW」を視察した。

独立行政法人自動車技術総合機構および軽自動車検査協会の検査用機器に係る判定値誤設定等の再発防止については、新たに制定した検査機関用の基準適合性試験要領等に基づき機器製作時・基準適合性試験時・機器設置時において専用のチェックシートを用いた判定値および判定精度等の確認を開始した。また、校正業務においても、引き続き再発防止に協力する。

スズキ

新型ハスラー発表
燃費率、走行性能ともに向上

スズキは先ごろ、6年ぶりのフルモデルチェンジ（FMC）となる新型ハスラーを発表した（写真）。衝突被害軽減ブレーキや後退時ブレーキサポートを標準装備するほか、NAエンジンを新開発し、全車にISG（＝モーター機能付発電機）も搭載。燃費は7～8%向上して25・0キロメートル／リットル（WLTCモード）となった。

NAとターボ車、2WDと4WDの合計8タイプがあり、価格は136・5万円～177・4万円。来年1月20日から発売し、月販目標は6千台。

◇　◇

現行ハスラーの累計販売台数は11月末時点で約47・7万台。同社によると、軽乗用車ボディータイプ別販売構成比は今年度（4～11月末まで）ベースでハイトワゴン（49%）、ワゴン（27%）、セダン（12%）の順で、ハスラーが属するSUV・クロスオーバー（9%）と続くが、発売当時の13年度ベース対比でそれぞれ17ポイント（P）増、19P減、7P増となっており、人気市場の競争環境がますます激しくなりそうだ。

つぎの未来へ、
人とエネルギーをつなぐ。

より進化した未来へ向けて、さまざまな分野で新たな価値の創造が求められています。
私たちトキコシステムソリューションズ株式会社は、
長年培ってきた流体を計測・制御する技術に加え、AIやIoTなどの先端技術を積極的に融合させ、
エネルギーインフラを支えるさらなる製品・サービスを提供してまいります。

常に勇気を持って新しい時代にチャレンジすること。
新社名のもと、新たな一歩を踏み出した私たちにご期待ください。

日立オートモティブシステムズメジャメント株式会社は、
2019年9月1日よりトキコシステムソリューションズ株式会社に社名変更しました。

TOKICO
Actuating change

トキコシステムソリューションズ株式会社
本社　〒210-0005 神奈川県川崎市川崎区東田町8番地 パレール三井ビル
TEL. 050-3852-5280　FAX. 044-222-7155
www.tokicosys.com